

シンポジウム10

骨粗鬆症検診の実態

日時	2026年9月11日(金) 13:35～15:05
会場	第3会場（2F メインホールB）
座長	田中 栄（東京大学大学院医学系研究科 整形外科学） 吉村 典子（東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター ロコモ予防学講座）

セッション概要

受診率が低迷する骨粗鬆症検診について、新潟県の地域格差、名古屋市の高受診率施策、泉佐野市のDXA外部委託、矢板市の行政連携改革、そして健康日本21（第三次）の国の目標という多層の視点から実態と改善策を検討する。

演題プログラム

- | | |
|----------|--|
| 1-SY10-1 | 新潟県市町村における骨粗鬆症検診の現状と課題-全国比較から見える地域格差-
佐藤 弘恵（新潟大学保健管理センター）
受診率5.7%と低迷する骨粗鬆症検診の制度的背景と自治体条件差による地域格差を、新潟市と全国・県内の比較から提示する。 |
| 1-SY10-2 | 高検診率の名古屋市における骨粗鬆症検診とロコモ予防
佐藤 公治（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）
名古屋市で検診率を6.0%から31.9%へ高めた無料クーポンや受診勧奨の施策と、八事整形医療連携会のロコモ予防活動を紹介する。 |
| 1-SY10-3 | DXA外部委託により治療へ直結する大阪府泉佐野市における骨粗鬆症検診
田中 雅博（社会医療法人生長会ベルビアン病院 整形外科骨粗鬆症センター）
泉佐野市がDXA保有医療機関へ検診を外部委託し、同日中の精密検査から治療導入まで完結する導線を構築した実践を報告する。 |
| 1-SY10-4 | 消滅可能性自治体における骨粗鬆症検診改革 -矢板市中核病院の挑戦-
菊池 駿介（国際医療福祉大学塩谷病院）
矢板市で行政と連携し、精査可能施設一覧やアンケート活用、対象年齢拡大、市役所への出張説明で受診を促す改革を報告する。 |
| 1-SY10-5 | 健康日本21（第三次）における骨粗鬆症に関する取組について
三枝 裕之（厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課）
健康日本21（第三次）が掲げる5つの視点と51項目の目標を整理し、検診受診率15%目標を含む女性の健康施策を紹介する。 |